

社会資本総合整備計画（第5回変更）

安全で安心して暮らすことのできるまちの実現

平成29年 1月12日

群馬県 甘楽町

社会資本総合整備計画（市街地整備）

平成29年1月12日

計画の名称	安全で安心して暮らすことのできるまちの実現			重点配分対象の該当
計画の期間	平成24年度 ～ 平成28年度（5年間）	交付対象	群馬県甘楽町	
計画の目標				

『通路路の歩行空間の確保、住民による防犯防災活動の機能を高め、大災害時における広域避難場所及び避難所の整備を図り、だれもが安全で安心して暮らすことのできるまちを実現する。』

計画の成果目標（定量的指標）	
----------------	--

- ・通学路の安全性に関する満足度を△0.42点(平成24年度)から0.06点(平成28年度)に増加
- ・防災等の安全性に関する満足度を△0.08点(平成24年度)から0.40点(平成28年度)に増加
- ・通学路における歩道延長を3,280.4m(平成24年度)から4,265.5mに増加

定量的指標の定義及び算定式		定量的指標の現況値及び目標値	備考
---------------	--	----------------	----

	当初現況値	中間目標値	最終目標値	備考
	(H24当初)	(H26末)	(H28末)	
通学路の安全性に関する満足度調査は、アンケートにより実施のうえ事業実施前後を比較する。調査対象者は、通学路を使う児童生徒の割合を多くし通学路利用者にとっての安全安心感の向上について確認する。	△0.42点	△0.02点	0.06点	
防災等の安全性に関する満足度調査は、アンケートにより実施のうえ事業実施前後を比較する。	△0.08点	0.28点	0.40点	
通学路における歩道延長を道路台帳により調査する。	3,280.4m	3,772.4m	4,265.5m	

全体事業費	合計 (A + B + C + D)	1,294百万円	A	1,284.4百万円 (うち提案 235.3百万円)	B	0百万円	C	9.6百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C + D)	0.7%
-------	-----------------------	----------	---	-------------------------------	---	------	---	--------	---	------	-----------------------------------	------

交付対象事業

A 基幹事業

番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H24	H25	H26	H27	H28				
1-A-1	都市再生	一般	甘楽町	直接	甘楽町	甘楽町福島・白倉地区都市再生整備計画事業		甘楽町						1,284.4			
									合計					1,284.4			

合計

1,284.4

B 関連社会資本整備事業

番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H24	H25	H26	H27	H28				
合計													0.0				

合計

	0.0
--	-----

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

C	效果促進事業
---	--------

番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考	
									H24	H25	H26	H27	H28			
1-C-1		一般	甘楽町	直接	甘楽町	甘楽総合公園防災事業	耐震性貯水槽整備1基、防災倉庫1棟	甘楽町						9.6		
										合計					9.6	

合計

	9.6
--	-----

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業

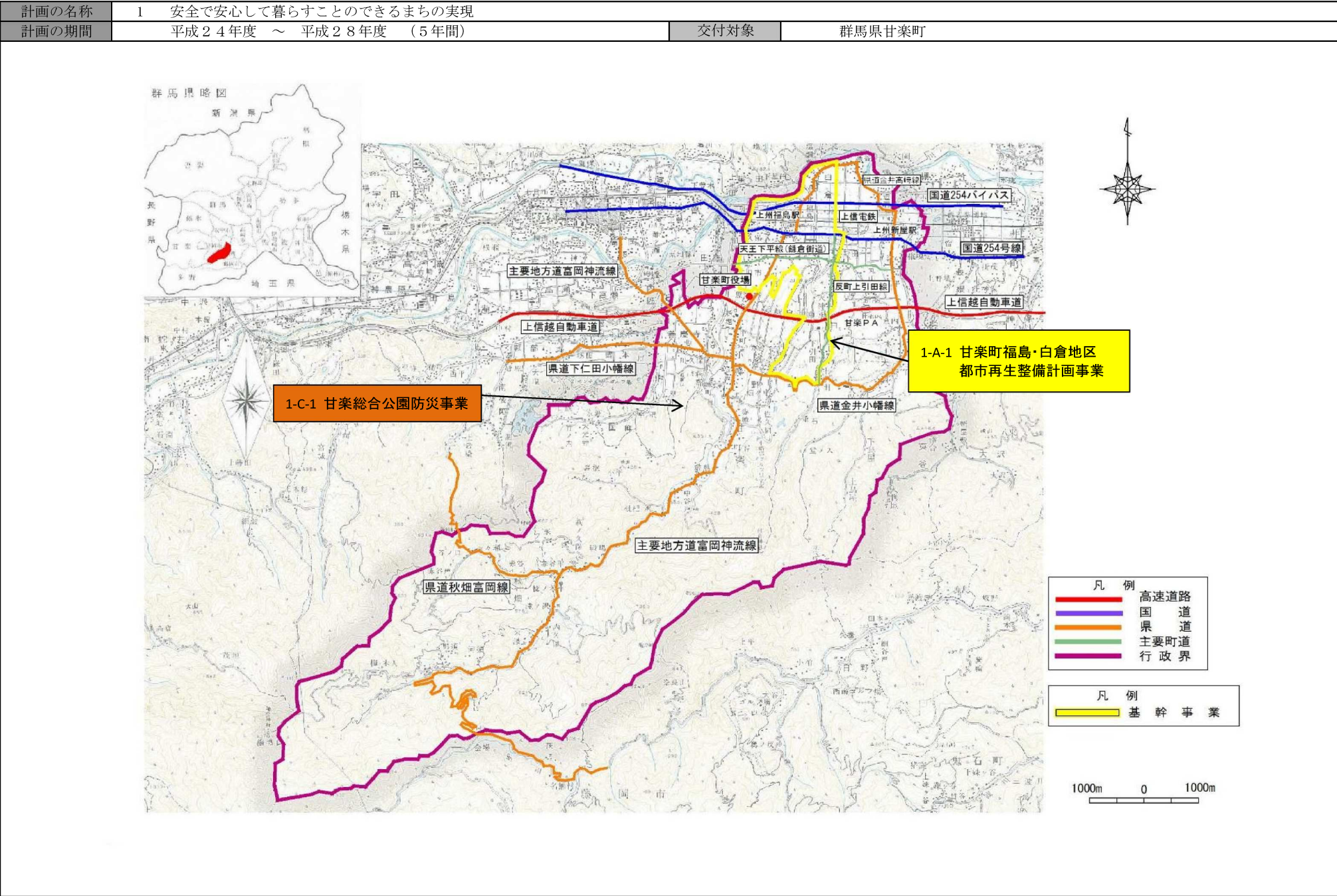
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
									H24	H25	H26	H27	H28			
合計															0.0	

合計

	0.0
--	-----

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

(参考図面) 市街地整備



都市再生整備計画(第5回変更)

かんらまちふくしま しらくらちく
甘楽町福島・白倉地区

ぐんまけん かんらまち
群馬県 甘楽町

平成29年1月12日

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	群馬県	市町村名	カンラマチ 甘楽町	地区名	フクシマ シラクラ 福島・白倉	面積	448 ha
計画期間	平成 24 年度 ~ 平成 28 年度	交付期間	平成 24 年度 ~ 平成 28 年度				

目標

大目標「安全で安心して暮らすことのできるまちの実現」

目標1 交通の利便性や安全性、歩行環境の向上をめざす。

目標2 子どもたちの安全安心対策を通して「安全で安心して暮らせるまちづくり」をめざす。

目標3 防災機能の整備充実や住民による防犯防災活動の機能を高め災害に強い安全なまちづくりをめざす。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

本地区は、高崎駅を発免とする上信電鉄の上州福島駅があり、北部地区を東西に254BP、国道254号線が並行して貫通し、南北に県道下高尾小幡線や主要な町道が縦断し、上信越自動車道も南部で貫通しており町の交通の拠点となっている。中央部には、趣味・生きがい、保健・福祉、健康づくりの拠点として、町の未来を展望した新しいエリアとして、平成2年に「甘藷ふれあいの丘」として計画を決定し甘藷町陸上競技場、甘藷町総合福祉センター、甘藷町文化会館、かんぽ保育園、甘藷古代館、甘藷町出土文化財管理センター及び甘藷町体育館が12ヘクタールの敷地に整備され、周囲にはかんな山並みを望む見晴らしい丘となっており、甘藷町都市計画マスタープランにおいても文化・教育・レクリエーションのゾーンとして位置づけられている。

甘楽町第5次総合計画(平成24年3月策定)において、住民が安全で安心して生活できる安心のまちを町政の基本とし「キラツとかんら安心のまち」をキャッチフレーズに「輝くまちづくり」を目指すものと決定される。少子高齢社会の到来により町内にある二つの中学校は、平成28年4月に統合中学校として、この甘楽ふれあいの丘に建設することが決定され、用地交渉も地権者との合意が得られ住民の文化・教育ゾーンとしての期待が高まっている。

地区内にある福島小学校区域は、国道254号線沿線に市街地居住がみられ都市的な機能が高まる中、人口も増加しており防災・防犯機能の充実が求められている。また、交通量の増大から交通渋滞はもとより交通安全上の環境悪化が懸念されている。このような状況で、地震に対する環境管理の重要性が高まり、大災害時における中枢機能を担う拠点整備が求められている。さらに子どもへの危害が社会的な問題となっていることから、通学路の街灯設置などへの期待が高まっている。保護者や学校にとって安心して子どもを育てる環境となっていないのが現状である。

課題

住民が安心して暮らせるまちづくりのためには、災害に強い基盤整備をはじめ道路交通の利便性の向上や交通安全対策、住民自らの安全安心に対する地域活動の展開や安心して子育てを行う環境づくりを進めることが重要課題となっている。

①すれ違いのできる道路、歩道のある道路、安心して明るい子どもの道路の整備が喫緊の課題となっている。

②学校の防犯対策をはじめとする子どもの安全安心対策が課題となっている。

③本地区南側に統合中学、そこから南西1.8kmに小学校があるが、地区内の通学路には歩道のない狭隘な町道が多く、児童生徒の登下校は常に危険と隣り合わせであり安全な通学路の確保が求められている。

④親が子どもたちを安心して安全に遊ばせることのできる場所の確保が期待されている。

⑤高齢者を含む地域の大人と子どもたちのつながりを強化し、地域全体で子どもを守っていくような環境づくりが求められている。

⑥市街地における避難所や避難路の整備や住民による防災活動の取り組みが課題となっている。

⑦地震時の大災害時における危機管理体制として、災害対策の拠点施設や避難所の整備が求められている。

将来ビジョン(中長期)

都市的機能と農村的機能が調和する環境の中で、安全で安心して暮らすことのできる生活空間が確保された元気な都市

・第5次総合計画においては、「住みたいまち」として、安全・安心なまちづくりを施策の柱のひとつとして「魅力ある元気なまち」の再生を目指すこととしている。

・甘楽町都市計画マスタープランでは、安全で快適な暮らしができる都市として位置づけ、教育施設、防災体制の整備拡充、交通事故防止の対策、防災組織づくりなどが方針とされている。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
通学路の安全性に関する満足度	点	事前事後アンケート調査に基づく、事前と比較した安全安心対策に関する満足度	通学路の安全性に関する満足度を△0.42点(平成24年度)から0.06点(平成29年度)に増加	△0.42点	平成24年度	0.06点	平成28年度
防災等の安全性に関する満足度	点	事前事後アンケート調査に基づく、事前と比較した安全安心対策に関する満足度	防災等の安全性に関する満足度を△0.08点(平成24年度)から0.4点(平成29年度)に増加	△0.08点	平成24年度	0.40点	平成28年度
通学路の歩道延長	m	通学路における歩道延長	通学路における歩道を整備することにより、安全で明るい子どもの道の実現を図るため歩道延長を30%向上させる。	3,280.4m	平成24年度	4,264.5m	平成28年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	
整備方針1(交通の利便性や安全性、歩行環境の向上による安全で住みよい地域づくり) ①車歩道が一体となっている通学路に歩道を整備することが必要である。また、歩道そのものの安全性・安心感を高めるため透水性舗装を施し照明灯の整備を図る。 ②蓋掛けのない町道の側溝新設及び改修整備により、安全性を高め歩行空間の整備を図る。 ③上記の施工ができない場合は、グリーンベルト等の整備により歩行空間の整備を図る。	方針に合致する主要な事業 ◎基幹事業 ・小船三ツ俣線歩道整備事業 ・西天神三ツ俣2号線歩道整備事業 ・天王下平線歩道整備事業 ・福島1号線歩道整備事業 ・福島2号線歩道整備事業 ・福島3号線歩道整備事業 ・福島4号線歩道整備事業 ・福島5号線道路整備事業 ・下小塚15号線整備事業 ・下小塚18号線整備事業 ・大山前西大山線整備事業 ・上宿笹森線整備事業 ・大山1号線整備事業 ・殿町下宿線整備事業
整備方針2(子育て環境の改善による安心して暮らせるまちづくり) ①児童・生徒の登下校時の交通安全や防犯対策を高めるために街灯などの整備を図る。 ②児童生徒の登下校時の交通安全や防犯対策を地域住民で支えあう活動の推進を図る。 ③良好な環境を有する住宅地であるために、住民が屋外で憩う場、親子が屋外でコミュニケーションをとることのできるスペースを確保する。 ④高齢者を含む地域の大人と児童・生徒が交流できる場所を確保する。	◎基幹事業 ・小船三ツ俣線街灯整備事業 ・西天神三ツ俣2号線街灯整備事業 ・天王下平線街灯整備事業 ・福島1号線街灯整備事業 ・福島2号線街灯整備事業 ・福島3号線街灯整備事業 ・福島4号線街灯整備事業 ・下小塚15号線街灯整備事業 ・下小塚18号線街灯整備事業 ・前谷下小塚線照明灯整備事業 ・白倉稻荷南小塚線街灯整備事業 ・小川上野線街灯整備事業 ・多井戸沖2号線街灯整備事業 ・大山前西大山線街灯整備事業 ・上宿笹森線街灯整備事業 ・大山1号線街灯整備事業 ・殿町下宿線街灯整備事業 ・防災交流センター(地域交流センター)整備事業 ◎提案事業 ・安全安心な地域づくりWS／まちづくり活動推進事業
整備方針3(防犯防災対策による災害に強い安全な地域づくり) ①防災訓練や防災講座の開催などを通じて防災意識を高める。 ②地域の安全を自ら守る意識づくりを高めるため、自主防犯防災組織づくりを推進する。 ③避難路ともなっている通学路等の防犯防災対策を高め地域住民の安全対策を図る。 ④広域避難場所及び耐震性を備えた避難所の整備を図る。 ⑤災害時に被災者への炊き出しを行える防災拠点を整備する。	◎基幹事業 ・防災倉庫整備事業 ・神明山防災広場整備事業 ・福島北防災広場整備事業 ・耐震性貯水槽整備事業 ◎提案事業 ・防災空間造成事業／地域創造支援事業
その他 ○事業終了後の継続的なまちづくりの活動 ・自主防犯・防災組織など、地域住民自らの取り組み活動を支援し、自ら守る安全・安心な地域社会づくりの意識を高め、自主活動の定着化を推進していく。 ・学童の登下校時の交通安全や防犯対策を地域住民で支えあう活動として継続的に発展させていく。 ・歩道の整備後は、自治会(行政区)育成会等既存の組織による清掃活動と補修必要箇所の点検など、維持管理の協働体制づくりを進めてゆく。	

交付対象事業費		1,284.4	交付限度額		513.76	国费率		0.4	(金額の単位は百万円)				
基幹事業													
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	交付対象	
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分
道路	道路	小船三ツ俣線歩道整備事業	甘泉町	直	L=1,216m	H24	H25	H24	H25	145.8	145.8	145.8	
		西天神三ツ俣2号線歩道整備事業	甘泉町	直	L=730m	H24	H25	H24	H25	4.8	4.8	4.8	
		天王下平線歩道整備事業	甘泉町	直	L=1,800m	H24	H25	H24	H25	30.9	30.9	30.9	
		福島1号線歩道整備事業	甘泉町	直	L=660m	H24	H25	H24	H25	2.4	2.4	2.4	
		福島2号線歩道整備事業	甘泉町	直	L=847m	H24	H25	H24	H25	13.9	13.9	13.9	
		福島3号線歩道整備事業	甘泉町	直	L=674m	H24	H25	H24	H25	13.9	13.9	13.9	
		福島4号線歩道整備事業	甘泉町	直	L=805m	H24	H25	H24	H25	3.5	3.5	3.5	
		福島5号線道路整備事業	甘泉町	直	L=362m	H25	H28	H25	H28	142.0	142.0	142.0	142.0
		下小塚15号線整備事業	甘泉町	直	L=297m	H24	H26	H24	H26	30.2	30.2	30.2	
		下小塚18号線整備事業	甘泉町	直	L=235m	H24	H26	H24	H26	36.7	36.7	36.7	
		大山前西山線整備事業	甘泉町	直	L=155m	H25	H25	H25	H25	0.5	0.5	0.5	
		上宿笹森線整備事業	甘泉町	直	L=380m	H25	H25	H25	H25	2.2	2.2	2.2	
		大山1号線整備事業	甘泉町	直	L=148m	H25	H25	H25	H25	0.2	0.2	0.2	
		殿町下宿線整備事業	甘泉町	直	L=185m	H25	H25	H25	H25	1.0	1.0	1.0	
		地域生活基盤施設		防災倉庫整備事業	甘泉町	直	1棟	H24	H26	H24	H26	15.1	15.1
神明山防災広場整備事業	甘泉町			直	A=0.15ha	H24	H25	H24	H25	46.1	46.1	46.1	
福島北防災広場整備事業	甘泉町			直	A=0.16ha	H25	H28	H25	H28	84.1	84.1	84.1	
耐震性貯水槽整備事業	甘泉町			直	2基	H24	H25	H24	H25	15.9	15.9	15.9	
小船三ツ俣線街灯整備事業	甘泉町			直	L=1,216m	H24	H25	H24	H25	48.9	48.9	48.9	
西天神三ツ俣2号線街灯整備事業	甘泉町			直	L=730m	H24	H25	H24	H25	24.4	24.4	24.4	
天王下平線街灯整備事業	甘泉町			直	L=1,800m	H24	H25	H24	H25	24.8	24.8	24.8	
福島1号線街灯整備事業	甘泉町			直	L=660m	H24	H25	H24	H25	2.7	2.7	2.7	
福島2号線街灯整備事業	甘泉町			直	L=847m	H24	H25	H24	H25	6.3	6.3	6.3	
福島3号線街灯整備事業	甘泉町			直	L=674m	H24	H25	H24	H25	9.0	9.0	9.0	
福島4号線街灯整備事業	甘泉町			直	L=805m	H24	H25	H24	H25	6.1	6.1	6.1	
下小塚15号線街灯整備事業	甘泉町			直	L=297m	H24	H25	H24	H25	6.6	6.6	6.6	
下小塚18号線街灯整備事業	甘泉町			直	L=235m	H24	H25	H24	H25	6.6	6.6	6.6	
前谷下小塚線照明灯整備事業	甘泉町			直	L=530m	H24	H24	H25	H25	1.1	1.1	1.1	
高質空間形成施設				白倉新南小塚線街灯整備事業	甘泉町	直	L=490m	H24	H25	H24	H25	17.3	17.3
		小川上野線街灯整備事業	甘泉町	直	L=400m	H24	H25	H24	H25	21.7	21.7	21.7	
		多井戸沖2号線街灯整備事業	甘泉町	直	L=290m	H24	H25	H24	H25	17.7	17.7	17.7	
		大山前西山線街灯整備事業	甘泉町	直	L=155m	H25	H25	H25	H25	1.7	1.7	1.7	
		上宿笹森線街灯整備事業											

(金額の単位は百万円)

...A

...B

都市再生整備計画の区域

甘楽町福島・白倉地区(群馬県甘楽町)	面積	448 ha	区域
--------------------	----	--------	----

